

1 【活動の趣旨】

歴史と伝統のある草津小学校では、保護者や地域の人と共に活動したり、交流を深めたりする中で相互の連携を密にし、地域と共に子どもの健全育成を図っている。草津市の市街地の中にある本校だが、校地内にある学校田や畑を利用したり、環境ボランティアなどの地域人材を活用したりして、保護者や地域の知恵と力を借り、地域協働合校事業を推進している。

2 【特徴的な活動内容】

○「なでしこの花を育てよう」

全校的に総合的な学習の時間等を活用し、環境ボランティアの指導をいただいたり、湖南農業高等学校の協力を得たりしながらなでしこの苗を植え育て、水やりや草引き作業等、日々の世話をしている。なでしこは、本校の校章の図柄であり、愛着を感じさせながら愛校心を育てることができた。



【なでしこの花を育てよう】

○「水のめぐみ“米づくり”」

5年生の総合的な学習の時間では、土作りから収穫まで半年以上に渡って「米作り」について学び、学校敷地内にある学校田で米を栽培している。特に田植え、稲刈りの時には、ボランティアの方が一人ひとりの手を取って丁寧に指導をしていただくことで、米作りにかかる思いや願いを感じながら学習をすることができた。

○「名人に学ぶ」

4年生の総合的な学習の時間では、日本の伝統的な文化に関して、地域や草津市内に在住されている名人に話を聞いたり、実技を指導していただいたりしている。また、学んだことを互いに発表し合うことで、学びを深めることができた。



【和太鼓（名人に学ぶ）】

3 【実施に当たっての工夫】

活動中だけでなく、活動後もボランティアの方が「来て良かった。続けていきたい。」と考えていただける活動を目指した。子どもたちとの交流がその時限りでなく、学習後の発表会などで触れ合うことで関わりを深めた。また、感謝の気持ちを伝えることでボランティアの方のやりがいにつながるよう取り組んだ。

4 【事業の成果】

何年も継続して活動に取り組んでいただいている方が多く、活動の流れを把握されており、担任が替わっても、スムーズに活動を行うことができた。また、継続して取り組んでいることが、ボランティアの方の「私たちが草津小学校の教育活動を支えている」という生き甲斐や誇りにつながっている。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

一人ひとりの子どもに丁寧に指導していただく等、ボランティアの方の熱心な支援で、計画的に学習に取り組んでいる。一方、「子どもたちが試行錯誤し、自力解決していく学習」という面では課題が残る。そのためにも、どんな力をつけさせたいのかという学習のねらいや、役割分担について十分に共通理解しておくことが大切である。